

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	おおたかの森ホール指定管理者事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進	主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	おおたかの森ホール利用者	意図	民間の創意工夫やノウハウを活用することで、利用者の満足度が向上できる。
事業内容	文化芸術の推進及び市民等交流の進展の場として活用を目指しており、民間の創意工夫やノウハウを活用する指定管理者制度を導入することで効率的かつ質の高い公共サービスを提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成31年度の開館に合わせて、平成31年3月から指定管理を開始し、施設運営にあたっては文化芸術及び市民等交流事業等に活用するなど、より効率的かつ質の高い公共サービスを提供するよう計画している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	指定管理開始に先立ち、施設の事務室開設、維持管理・設備機器の確認、利用予約の受付等の開館準備業務を委託し行った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				22,130,000			
事業費(b)(円)				20,482,000			
うち一般財源				20,482,000			
職員給与費(c)(円)				1,648,000			
人役・職員(人)				0.25			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	指定管理者に指定した事業者と確認を取りながら管理運営等の詳細について準備を進める。	③取組における課題(Check)	利用者の利便性、ニーズに迅速に対応できる体制強化を図る。
②H30に実施した取組(Do)	平成31年3月からの指定管理開始に先立ち、施設の事務室開設、維持管理・設備機器の確認、利用予約の受付等の開館準備業務を委託した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	利用者の利便性、ニーズに迅速に対応できる体制強化を図るため、継続的に指定管理者と協議していく。